

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0270201353		
法人名	社会福祉法人弘前わかば会		
事業所名	グループホームベルフラワー		
所在地 (電話番号)	〒036-8232 青森県弘前市城南5丁目13番地15 (電話) 0172-36-6517		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年2月3日	評価確定日	平成22年4月28日

【情報提供票より】(平成 22年 1月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 5月 2日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	16,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(1月 15日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	4 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83 歳	最低	75 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂本アレルギー呼吸器科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>1ユニットであるが一般家庭を思わせるような2階建ての造りである。2階にいても1階の状態がわかるような作りになっており、2階の各居室からはすばらしい風景が一望できる。特別養護老人ホーム、短期入所施設が併設され、看護師との連携体制があり、緊急時の体制が整っている。また、職員と利用者が一緒に行事食作りを行うなど、関わりのなかから同じ時を一緒に過ごして行きたいという思いが感じられる。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題は、職員で検討しながら改善へ向けて取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を作成するにあたって、全職員で取り組まれることに期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1回定期的に開催されている。家族、民生委員、看護師他母体施設相談員、地域包括支援センター職員、市役所担当職員の参加で、利用者の様子や活動状況の報告等をし意見交換を行っている。事業所の定期会議で運営推進会議の内容を基に意見交換を行い、サービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>玄関に意見箱の設置と、家族と事業所との連絡帳で意見を吸い上げ、苦情の対応に努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩や外出の際、地域の方と挨拶をしたり、気軽に声をかけあえる関係ができています。また、認知症の資料を提供したり、相談を受けたりしているが、地域活動や祭りへの参加の受け入れが困難で、地域の中になかなか浸透できない状況にある。民家が近いので気軽に立ち寄れる体制作りを期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基本としながら、グループホーム独自の理念を皆で作りにあげているが、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容の理念となっていない。		地域密着型サービスの意義や、事業所と地域との関係性を継続できるような内容を盛り込んだ理念を作りあげていくことが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホーム独自の理念について職員は理解されているが、確認されていない。		グループホーム独自の理念を日々職員間で話し合ったり、確認し合えるような取り組みに期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩や外出の際、地域の方と挨拶をしたり、気軽に声をかけあえる関係ができています。また、認知症の資料を提供したり、相談を受けたりしているが、地域活動や祭りへの参加の受け入れが困難で、地域の中になかなか浸透できない状況にある。		地域の方々との関係性を継続する為に、地域住民の一員として町内会や自治会に加入したり、地域活動の情報を集めたりしながら、その地盤を作るために活動や役割を担っていくことが望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果を活かし改善に向けて検討や、実践はされているが、自己評価に取り組む一連の過程で職員全員での取り組みがされていない。		評価のねらいや活用方法を理解し、全職員で自己評価に取り組まれることが望まれる。
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に定期的開催されている。グループホームの活動内容や利用者の様子を紹介したり、参加メンバーから質問や意見を受け、改善に向けて取り組んでいる。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現況報告をしたり、電話相談をしたり、出向いたりしながら考え方や実態を市町村と共有している。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在利用している方がおり、勉強会を開いて職員に説明している。また、対応が必要と思われる利用者には相談できる体制があり、利用者の支援に結び付けている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等の勉強会を開催したり、日々の関わりの中で振り返る機会を設けている。また、虐待行為を発見した場合の対応方法について職員は理解され、職員間の連携が図られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、また、契約解除時は利用者、家族に丁寧に時間をかけて説明している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の同意を得てホームページに日頃の利用者の様子や、近況を載せている。また、金銭については毎月明示し、利用者の様子が書かれた一言カードと一緒に報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱が置いてあると共に、面会時には意見や、希望、苦情が言えるような雰囲気や吸い上げに努めている。家族が面会時に話された、希望や意見等は記録に残し、職員で共有し、ミーティングで話し合い、ケアに反映されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制にはあるが、やむを得ず異動や離職があった場合には、引継ぎの場面で最善の努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修の参加や、外部研修に職員のスキルに応じて参加している。また、研修後は報告会を開いている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の事業所や関連している事業所同士の交流は定期的にあるが、特にネットワーク等には加入していない。		事業所の質の向上の為に、地域の同業者や他法人とのネットワーク作りや連絡会に加入しながら、勉強会に参加するなど交流の機会を持てるような取り組みに期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に事業所の見学に来ていただいたり、職員が訪問するなどを繰り返し、安心して入居できるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の生活歴を把握し、尊重しながら、本人の思いを共感し理解、実践している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に本人や家族から生活状況や趣味、意向等を確認している。入居後には本人の言葉や表情から汲み取ったり、家族の面会時に情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族から確認した思いや意向を計画に反映している。また、職員全員でカンファレンスを行い、利用者のその時にあった計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の状態や状況に応じて問題や課題の見直しが必要とされた場合は、本人や家族と話し合い、終了する前であっても、計画の見直しを行い課題を明確にし実践している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>急な外出や外泊等にも柔軟に対応できるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。基本的に受診は家族対応であり、他サービスを利用しながら通院している。通院介助時は、医師に上手く伝わるよう情報提供書を渡して対応している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取り指針があり、入居時に重度化対応や終末期について、利用者や家族が安心してサービスを利用できるように、事業所が対応できるケアについて十分に説明している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会やミーティングの折に触れ、プライバシーに対する姿勢を職員間で確認し、職員の意識向上を図っている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、その日の利用者の状況や希望を把握しながら、利用者のペースに添って柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>行事食や盛り付け、後片付けは役割分担をし、利用者と共に楽しい雰囲気の中で食事ができるように対応している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴としているが、利用者の希望や状況により、足浴やいつでも入浴できる体制がある。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々の生活歴を把握し、趣味や本人が今できることを支援し、楽しく生活ができるよう職員が働きかけている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や買い物、ドライブ等の外出支援を計画的に実施している。また、利用者の希望でお墓参りに出かけることもある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は身体拘束について勉強会を開催したり、ミーティングの中でケアを振り返るなど、認識を持ち身体拘束のないケアを行っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>2階に居室があり、中央に階段があるため転落防止のために施錠しているが、玄関や居室、エレベーターは日中施錠せず対応している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>1ヶ月に1回、火災や地震の災害を想定して避難訓練を実施している。また、非常用食料も準備している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>母体施設の栄養士が献立を作成している。食事量や水分量等を把握し、バランスの取れた食事が提供できるように配慮している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルがあり、定期的に勉強会を開催したり、職員同士が確認し早期発見、予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>2階の居室にいても、1階の台所から調理する音や、利用者と職員の会話が聞こえてくる。日中の共有スペースは採光が心地よく、ほのぼのとした空間がある。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が過ごしやすいよう、本人の希望に合わせて家庭で使っていた馴染みのある物品や、使い慣れた物を持ち込んで頂き、居心地よく過ごせるよう配慮されている。</p>		

 は、重点項目。